

想いいっぱい の風と恋

今年も全国から7030句



表彰式に出席した入賞者のみなさん

黛まどかさんが選ぶ「第六回俳句コンテスト」の表彰式は十月二十一日、町総合センターで入賞者ら約百人が出席して行われました。今年7030句の応募があり、入賞者には賞状や盾、町の特産品などが贈られました。入賞作品に黛さんから講評も添えられ、参加者はますます俳句の魅力に引きつけられました。ここでは、入賞作品の一部を紹介します。

最優秀賞 (風・恋 各一句)

風 まだ風の幼きところ花菫すみれ

鈴木 一郎 (埼玉県)

恋 花の旅恋ひすることもなく嫁ぎ

百合由美子 (ブラジル)

優秀賞 (風・恋 各三句)

風の道作り僧待つ夏座敷
春めくや絵馬の奏でし風の音
駅長が指す近道は稲穂波
君の背の大きく見ゆる祭かな
初恋の人も輪にいる盆踊り
息白しもう一言が言へぬまま

江田三峰 (札幌市)
手塚久代 (福島県)
松川 靖 (埼玉県)
岩城順子 (茨城県)
北村純一 (神奈川県)
大塚雅彦 (埼玉県)

特別賞 (岩手日報社賞)

風 うちわ風ゆつくり送る看取りかな 千葉久子 (一関市)

恋 忘れたき恋ブランコを空に跳ね 脇田年夫 (盛岡市)

団体賞 (最優秀校)

小学校の部 米内小学校 (盛岡市) 葛巻小学校
中学校の部 久慈中学校 葛巻中学校
高校の部 水沢第一高校 遠野高校情報
ビジネス校

奨励賞 (小・中・高・一般 各三句) 葛巻町関係

きみといる静けさの中天の川 堀口準大 (葛巻高一年)

黛まどか町民特別賞

風鈴と大親友だ川の風
こいのぼり風をいっばいのんでいる
夏の山私のせなか風がおす
からからと風遊ばせて凍豆腐
参道の上りにかかり若葉風
幼子の声にも揺れて秋桜
夕焼けにふたつのかげが手をつなぐ
さくらんぼはさしそうにみつめあう
君も入れ遊びたかった夏祭り
シャツで拭き君とかじった真桑瓜
顔いてくれる人居てあたたかし
初めての恋がはじけてかき氷

服部 奏 (葛巻小六年)
四垂大輔 (葛巻小四年)
渡辺菜月 (葛巻小四年)
遠藤正子 (新町)
遠藤トク (田子)
高家卓範 (江刈川)
田代成美 (江刈小五年)
川戸海輝 (葛巻小六年)
大石葉月 (葛巻小六年)
山形米蔵 (新町)
入月静子 (橋場)
福田信博 (四日市)

手づくりのおもてなし くずまきフアンの広がりへ



昼食は婦人会員の手づくり「そばがき」や「へっちょだんご」など郷土食。参加者は感激の笑顔



会場を覆い尽くした生け花の材料は、コンテスト実行委員会(藤岡徹委員長)が準備。黛さんのコサージュと入賞者に贈られた俳句入りのしおりは「花遊会」の皆さんの真心入り



吟行会が行われた袖山は突然の風雨。薪ストーブで温められた牛乳とトウモロコシが振る舞われ、まさしく「あったか〜い」おもてなし

コンテスト あれこれ

全国各地から表彰式に訪れた入選者。「人の心が温かくてすてきな町」と、手づくりのもてなしに感謝の言葉が飛び交い、また町のファンが増えました。

…すようなことで

②
デイビッド・マナーリオ
(指導主事助手・29歳)



食べ物以外は……

今月は、僕が葛巻のどこで、何を食べるか紹介します。

- みもれ：スペアリブ、ピラフ
- リベロ：ピザ、シーフードピラフ、シーフードサラダ
- 茶香：うなぎ丼、寿司 (並)
- 寿恵広食堂：カツ定食、餃子定食、アイスコーヒー
- ほすなある：カツ定食
- パンハウス：全部好き
- 森風カフェ：ランチセット、なっちゃんが作ったタルト
- 村清：田楽もち
- 白樺食堂：日替わり

僕が食べられないのは納豆です。実は食べたことはありますが、においに耐えられません。納豆以外は大丈夫です。馬刺しもミョウガも食べたことがあります。いつかフグを食べてみたいと思います。

「日本の食べ物で、食べられないのはありますか」と、たくさんの人に何度も繰り返し、同じ質問をされます。今、僕の好き嫌いを教えたので、これからは食べ物の話はなしにしましょう。



好きな田楽もちを買って、ろ・さ・て、ど・う・し・よ・う・と・こ

国際理解研究のために、アメリカのインディアナ州に留学した中学生の発表を聞きました。一番記憶に残ったのは、食べ物の話が多かったことです。ハンバーグの大きさ、味噌を食べたくなる、アメリカの牛乳は薄いなど。他に気づいたことを尋ねるとシーンとなり、答えが返ってきませんでした。

日本文化の一つは食文化です。異国の食文化と比べたいのは当然です。でも、それで何を言いたいのが疑問です。日本人は、日本の食べ物がアメリカより豊富だと思っても、それだけでアメリカの文化を理解できた訳ではありません。食べ物をとおして異国人は何を考え、なぜあのように振る舞うのか理解できません。せっかく海外へ行ったので、食べ物以外の習慣や価値観の違いなどに気付いてほしいと思います。

異国の食文化に興味があることは悪くありません。ただ、外国人が納豆を食べないことを知っているだけで、国際理解にはなりません。

この文章は、デイビッドさんが日本語で書いています。

「好きな人がいます」と黛さんのインタビューに照れながら応える「風」と「恋」で奨励賞の小学生



黛まどかさん(右)と「聞きしに勝るいい町。また来たい町」と今回初めて町を訪れたまどかさんの父で俳句界の重鎮・執さんは絶賛。

